

町村協会だより

41

(根室支庁管内羅臼町)

三障害者が相互に理解と交流を深め共に社会参加

第四十一回目として紹介します協会は、根室支庁管内の最北部に位置し、平成十七年には世界自然遺産に登録され、豊かな大自然と豊富な水産資源を有する町の羅臼町身体障害者福祉協会（村元慶蔵会長）です。

同協会は、昭和三十七年四月に、障害者の自立と社会参加を促進し、福祉の増進を図ることを目的として設立されました。役員及び執行体制は、村元会長を筆頭に副会長三名、理事六名、監事二名の計十二名で構成されており、各町内に二十名の



根室支庁地区親睦スポーツ大会で優勝

班長を配置し、会員との連携を密にし活動しております。また、現在の会員数は百七十六名おります。

主な年間行事及び活動内容

- ▼役員（班長）会・定期総会
- ▼町外視察研修（二泊三日）
- ▼会員相互の親睦交流会（さわやか新年会）
- ▼全道身体障害者福祉大会参加
- ▼根室支庁地区身体障害者福祉協会総会出席
- ▼根室支庁地区身体障害者親睦スポーツ大会参加
- ▼羅臼の健康づくり市街地探訪ウォークラリー共催



視察研修旅行

羅臼町身体障害者福祉協会PR

同協会では、毎年町の協力を得て、障害者更生施設等を中心とした視察研修を実施していますが、近年は公共施設や民間施設にも対象を広げています。

また、町内に開設された障害者地域活動センター「とつどる」の利用者との交流を深め、今年一緒に参加した根室支庁地区身体障害者親睦スポーツ大会では、二十二年ぶりに優勝の栄誉に輝きました。利用者の皆さんが元気に楽しんでくれたことが喜ばしく、今後も身体、知的、精神障害者が相互に扶助と理解と交流を深めて、社会参加への自立向上を図って行きたいと考えております。

一方、若年層の加入が少ないこと等から年々会員数は減少し、併せて役員の高齢化が課題ですが、町の協力を得て、手帳交付時に協会の事業概要や各種制度等を記載した資料を配布して頂き、同意を得た方の自宅を訪問し、ご家族の協力も頂くなどして加入促進を図っております。



健康づくりウォークラリー